



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

平成30年2月26日(月)

国土交通省関東地方整備局

相模川水系広域ダム管理事務所

記者発表資料

「日本ダムアワード2017」の授与式を開催！

—相模川水系総合運用（神奈川県・国土交通省）が低水管理賞を初受賞—

全国のダム愛好家で作る日本ダムアワード選考委員会が主催する「日本ダムアワード2017」において、相模川水系総合運用（神奈川県・国土交通省）が「低水管理賞」に選ばれ、次のとおり授与式が開催されます。

記

実施日：平成30年3月5日(月)

時間：授与式①：10時50分～、授与式②：13時30分～

場所：授与式① 神奈川県企業庁相模川水系ダム管理事務所

【城山ダム下流左岸展望台

(雨天の場合は、相模川水系ダム管理事務所会議室)】

授与式② 国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所

【宮ヶ瀬ダム下流噴水前

(雨天の場合は、相模川水系広域ダム管理事務所会議室)】

■報道関係者のみなさまへ

※取材を希望される場合は事前に下記の間合せ先までご連絡下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／厚木記者クラブ／

問い合わせ先

国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所

広域水管理課長 小川 浩(おがわ ひろし) 電話046-281-6911(代表)

神奈川県企業庁企業局利水電気部利水課

利水課長 影山 雅映(かげやま まさてる) 電話045-210-7230

副課長 小澤 浩幸(おざわ ひろゆき) 電話045-210-7231

「日本ダムアワード」とは

全国のダムの愛好家で作る日本ダムアワード選考委員会が、一年間のダムの活躍を振り返り、様々な角度から活躍したダムを部門ごとにノミネートし、各部門賞と大賞を選出し、その功績を讃える“ダム版アカデミー賞”とも呼ばれている。

今回は、2017年12月17日(日)に開催されました。

日本ダムアワード2017受賞ダム(5部門)

- ・ダム大賞 寺内ダム(福岡県／水資源機構)
- ・放流賞 丸山ダム(岐阜県／国土交通省・関西電力(株))
- ・低水管理賞 相模川水系 総合運用(神奈川県／国土交通省・神奈川県)
- ・イベント賞 ハッ場ダム(群馬県／国土交通省)
- ・洪水調節賞 勝本ダム・男女岳ダム(長崎県)

低水管理賞とは

当該年においてもっとも印象に残った低水管理(利水補給)を行ったダムに授与されるものです。

今回の受賞理由は、平成29年の少雨傾向により、相模川水系3ダム(相模ダム、城山ダム、宮ヶ瀬ダム)の合計貯水量は、平成13年の宮ヶ瀬ダム完成以来最少を記録する中、相模川水系3ダムが連携した「総合運用」を行い、少雨傾向を乗り切ったことが評価されたものです。



相模ダム



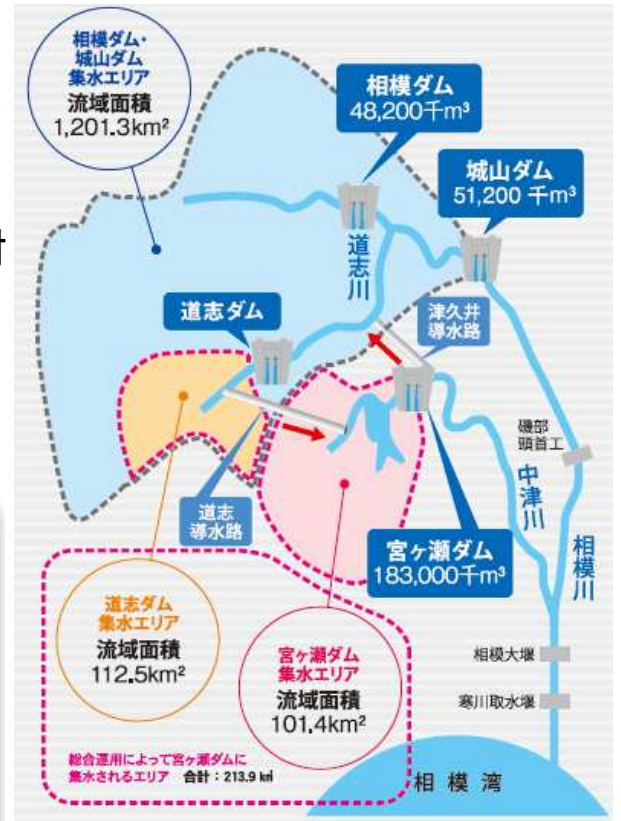
城山ダム



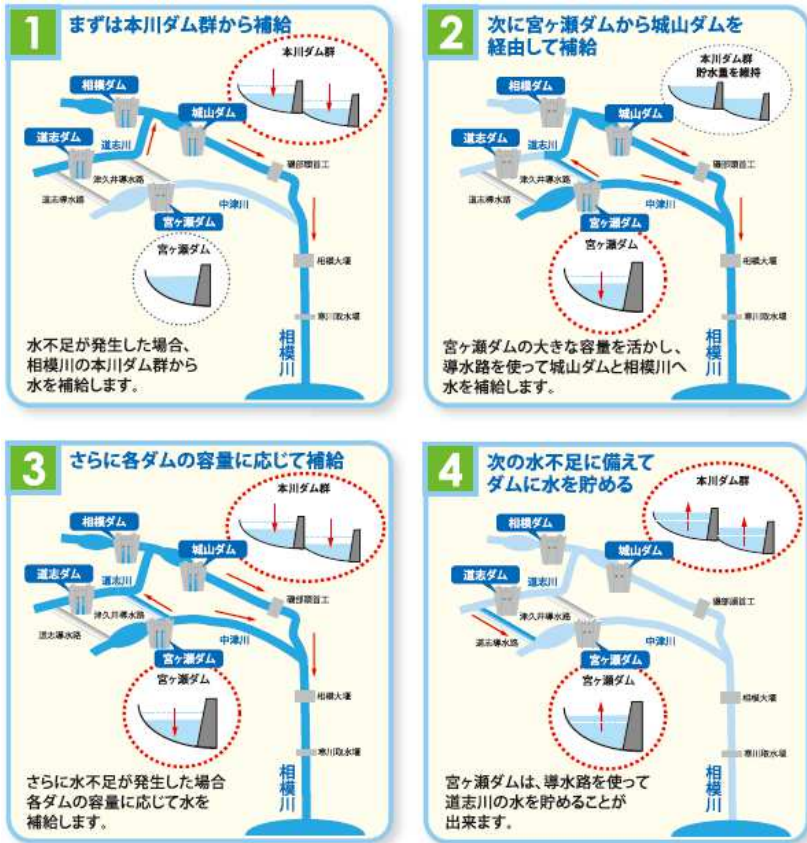
宮ヶ瀬ダム

総合運用とは

相模川本川にある相模ダムと城山ダムは、集水面積が大きい反面、貯水容量が小さいのに対し、相模川支川中津川にある宮ヶ瀬ダムは集水面積が小さく流入量が少ないのに対し貯水容量が大きいという特徴があります。この特徴を2本の導水路で連携することで、ダムの特徴を活かした水運用を行っていることを、「総合運用」と呼んでいます。



上図：各ダムの特徴を表した模式図



左図：実際の水運用を表した模式図

下図：3ダム(相模ダム・城山ダム・宮ヶ瀬ダム)の合計貯水量

